



第2回 世界デジタル監視フォーラム ジャパン セキュリティは IPとハイブリッドの時代へ

今年7月、「セキュリティはIPとハイブリッドの時代へ」をテーマに、東京の池袋メトロポリタンプラザで、世界デジタル監視フォーラムジャパン(GDSF Japan 2009)が開催された。本イベントは、台湾や中国、ベトナムで4年前から開催されており、日本では昨年10月の第1回は8社、176名が参加し、今回の開催では12社と253名が参加した。

最新のIPセキュリティ事情を 学べ、意見交換も可能な場

「GDSFはメーカーやインテグレータの発表の場や、ユーザーが動向を知るチャンスになるだけでなく、三者が意見交換をできる場。日本のセキュリティ市場にとって有意義なイベントだ」とA&S Japanパーソン・リー代表取締役社長の挨拶で、イベントはスタートした。GDSFはセミナーセッションと展示ルームでの製品デモという2部構成になっている。セミナーは、「IPおよびハ

イブリッドによるソリューションの紹介」と「インテリジェント映像ソフトウェア最新技術の紹介と活用法」をテーマに、2つのトラックに分かれ、9つのセッションが開講された。セッション開始前に、トラックごとに基調講演と特別講演が行われた。

インタフェース標準化

「IPおよびハイブリッドによるソリューションの紹介」をテーマにしたトラックAでは、ソニーによる基調講演が

行われた。登壇したのは、同社B2Bソリューション事業本部マーケティング部門IPELAマーケティング部担当部長の岩崎研一氏。岩崎氏は、「ONVIF標準化活動の概要とアップデート」をテーマに講演を行った。

ONVIFはOpen Network Video Interface Forumの略で、ネットワークカメラ製品に関するインタフェースの標準化フォーラムである。アクシスやボッシュ、ソニーが提唱し、2009年6月24日時点でのメンバー数は67社になる。



講演冒頭で、岩崎氏は、自身が元々アナログのCCTV技術者であったことを挙げ、「アナログはケーブルを接続すれば良いが、IPは違う。それが普及のボトルネックになっている。アナログと同様に、接続したら画が出るという当たり前のことを実現したい」とONVIF設立の動機を語った。IPの場合、カメラやレコーダを制御するコントロールコマンドが各社独自であることや、RTPやHTTPといったプロトコルの違い、JPEGやH.264などのコーデックの違いがあり、コーデックにも各メーカーによって「方言」がある。機器をネットワークに接続した際に、機器を発見するディスカバリー・プロトコルも各社独自で、機器を接続したら画が出るということはない。配線が限定されるアナログと違い、PCなどの多種多様な機器が混在するIPの事情もあるが、接続の複雑性が普及の障壁になっているのは事実である。

岩崎氏はインタフェース標準化のメリットとして、「メーカーにとっては、他との互換性が保て、市場拡大が見込める。インテグレータにとっては、ブ

ランドを問わず設置の簡素化やコストメリットが見込める。ユーザーにとっては、製品選択が自由になり、投資が無駄にならないメリットがある」と強調した。

NGNやモバイル網の普及はセキュリティにも好影響

「インテリジェント映像ソフトウェア最新技術の紹介と活用法」をテーマにしたトラックBでは、リックテレコムによる基調講演が行われた。同社『月刊テレコミュニケーション』編集長の土谷宣弘氏が登壇し、「NGN次世代ネットワーク」について講演を行った。

NGNはNext Generation Networkの略で、固定通信網と携帯通信網が融合され、音声や通信、放送がIPネットワークで統合されることだ。昨年春からNTTはNGNの商用サービスを開始している。「NGNにより、かつては考えられなかった企業間連携やビジネスモデルの大転換が起きる」と土谷氏は語り、今後3年間の通信業界動向について説明した。

同氏によると、日本の通信業界は転

換期を迎えており、NGNにより、通信事業者はインフラ提供からサービス提供へとシフトしつつあるという。一般向けにはインターネット接続や光/テレビ電話、コンテンツ配信サービスなどがあり、企業向けに注目されているのが、今年の秋に開始予定のオンデマンドVPNである。オンデマンドVPNにより、セキュリティの確保されたネットワークを、必要な時に必要な速度で利用し、通信コストを下げるのが可能になる。

遠隔監視でこれを利用すれば、平常時はフレームレートを下げた映像を細い帯域で送り、警報発報の際にはIPカメラの高解像度映像を太い帯域で送るなども可能になるだろう。インタフェースの標準化やNGNの普及など、IPセキュリティにとっても、今後数年間は見逃せない時期であると感じた。

展示ブースでは、参加企業による新製品のデモやサービス紹介などが行われ、イベントの参加者と活発な意見交換が行われていた。

